



# 第53期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



南海プライウッド株式会社

## 企業理念

美しさに富み、  
心やすらぐ  
快適な住環境をつくる  
「木」の再現を  
求めつづけます。

## ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
ここに、第53期の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、原油の高騰による影響が懸念されましたが、企業収益の改善により設備投資も堅調に推移し、個人消費も順調に回復してまいりました。

住宅業界におきましては、マンション設計・施工業者の耐震強度偽装が発覚し大きな社会問題となりましたが、景気回復の兆しが見え始めたことにより新設住宅着工戸数が堅調に推移し3年連続して増加いたしました。

このような状況下、当社グループは、製品の品質安定と原材料費の低減に努め、植林材の使用を進めると同時に生産の効率化に取り組みました。販売面におきましては、競合他社との差別化による収納材製品の拡販に傾注するとともに、新製品のアルミ製オープン階段「ルミスト」の新規店開拓を推進いたしました。

また、環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得に取り組み、(財)日本規格協会の登録審査を受け、当社全事業所の新規登録が承認されまして、平成18年3月31日に登録を行いました。環境に優しい企業として全従業員が環境方針に基づいた環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

景気は、緩やかな回復傾向が続くと思われませんが、原油の高騰による影響から企業収益の確保が難しくなり経営環境は予断を許さない状況が続いていくと思われれます。

当社グループといたしましては、経営環境の変化に迅速に対応するとともに、企業の社会的責任を全うするため法令順守による健全な企業運営のできる内部統制の構築に向け取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

## 環境マネジメントシステム



**EMS**

ISO 14001:2004  
登録番号 JSAE1213



**JAB**

EMS Accreditation

登録番号 RE005



### 適用規格

JIS Q 14001 : 2004, ISO 14001 : 2004

### 登録範囲

住宅用内装材(天井材・収納材・床材・建具類)の  
設計、開発及び製造における

- 1.省エネルギーの推進(電気使用量の削減)
- 2.省資源の徹底(コピー用紙の使用抑制)
- 3.排気物の低減とリサイクル(廃棄物の減量化)
- 4.環境負荷低減型の製品開発(低VOCの製品開発)
- 5.グリーン購入

を推進するための環境マネジメントシステム

### 関連部門

- 志度工場
- 物流センター
- 朝日新町倉庫

### 登録日

2006年3月31日

## 環境方針

私たち南海プライウッド株式会社は、恵み豊かな自然環境を利用して事業活動を行っていることを自覚し、かけがえのない地球環境を継続的に守るため

- 木材資源の有効活用
  - 環境負荷の低減
- を企業理念とし、快適な住空間を提供するという事業活動を通じて、社会の発展に貢献します。

## 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の設備投資や生産活動の持ち直しに加え、個人消費にもようやく明るさが見え始め改善の兆しが見られてきましたが、原油などの素材価格の高騰による影響が出始め景気回復は減速状態となりました。

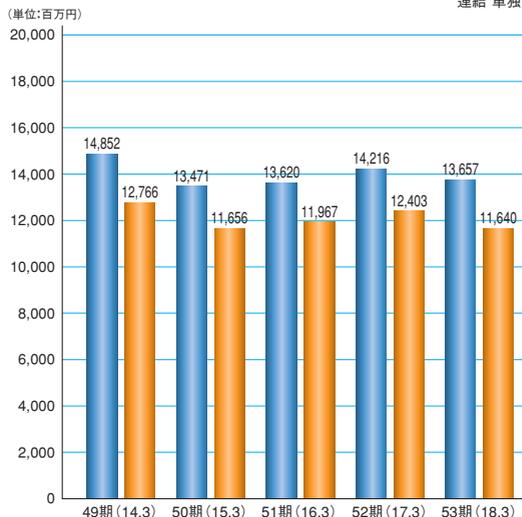
こうしたなかで、当社の連結業績に影響をおよぼす新設住宅着工戸数は、景気の回復が実感でき先行きに明るさが見え始めたことから、前年同期を上回る4.7%増の124万8千戸となりました。

このような状況下、当社グループでは、木材関連事業、電線関連事業等ともに企業目標達成に向けた活動を展開いたしました。木材関連事業におきましては、海外子会社の生産品の品質向上と生産効率改善に取り組み、植林材の使用を推進いたしました。国内工場では、品質管理体制を強化し不良品の低減に努めました。また、販売面では、収納材製品の拡販と新製品のアルミ製オープン階段「ルミスト」の販売先開拓に傾注し販売量の増加に努めました。

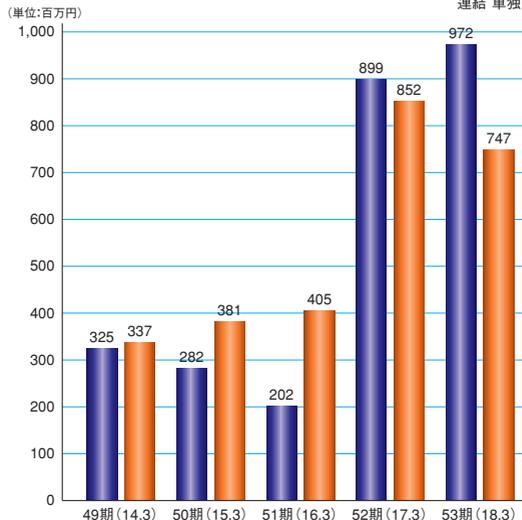
一方、電線関連事業等につきましては、社内体制の強化改善に取り組み地域密着型の積極的な営業活動を展開することにより収益の確保に努めました。その結果、下期には徳島および松山営業所において大口建設物件の売上を計上できました。

以上の結果、連結業績は、売上高136億57百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益6億56百万円（同32.3%減）、経常利益9億72百万円（同8.1%増）、当期純利益6億39百万円（同41.7%増）となりました。

## ▼ 売上高の推移



## ▼ 経常利益の推移



## 次期の見通し

今後のわが国経済は、企業業績の改善による緩やかな回復が続いていくと思われませんが、原油の高騰による素材高の影響から企業収益確保には厳しい経営環境が続いていくものと予想されます。

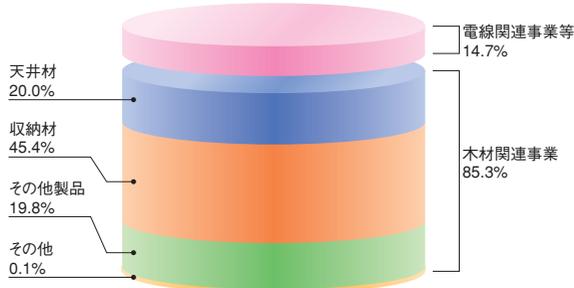
このような状況により、新設住宅着工戸数は好調な貸家・分譲住宅の建設に支えられ、おおむね前年度並みに推移すると思われま

す。当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に取り組み、グループの業績拡大を図っていく所存であります。木材関連事業におきましては、海外子会社と国内工場の連携強化による効率的な業務推進と植林材の使用比率を上げることによる原材料費の低減を進め、高騰する原材料費の吸収に努めてまいります。また、品質管理体制の強化を進め、顧客満足度の高い南海製品の供給に取り組んでまいります。

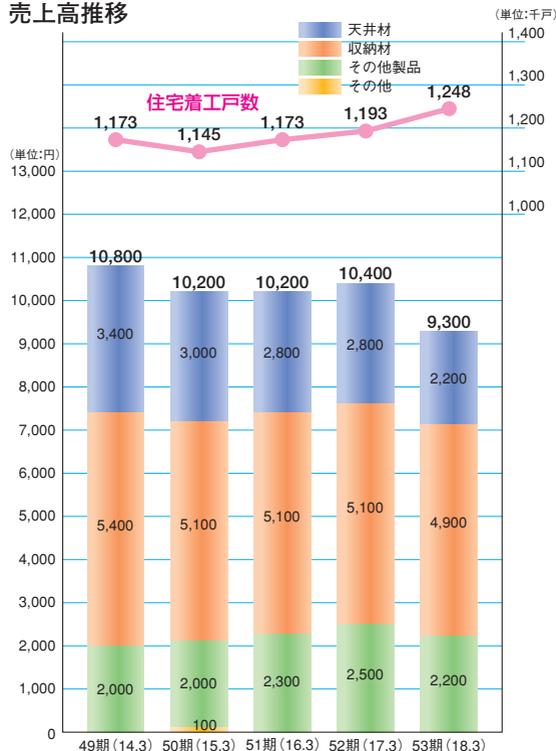
一方、電線関連事業等につきましては、経営基盤の強化に努めますとともに回復している企業の設備投資を獲得するため地域密着型の積極的な営業活動を展開することにより、収益の計上できる企業に改善してまいります。

次期の連結業績は、売上高139億50百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益6億84百万円（同4.2%増）、経常利益8億13百万円（同16.4%減）、当期純利益5億30百万円（同17.1%減）になるものと予想しております。

## ▼セグメント別の連結売上高構成



## ▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

# 新製品のご案内 **NEWS RELEASE**

## アートランバーリフ

お部屋の端から端まで1枚ですっきり魅せる4Mの棚板が登場



色々なシーンに  
欲しかった  
このサイズ

- 薄型テレビをスマートに置くりビングローボードとして
- シンプルでいて木目を美しく魅せる和室の床の間として
- カット、ビス打ち自在の簡単施工だからクローゼットの棚板として

オプションで収納ボックスや引出しを取り付ければ、シンプルなフォルムでより使いやすい収納になります

## アートフロアーエルフ

天然素材が持つ  
本来の柄・色をそのままに、  
無垢のナチュラル感にこだわった  
アートフロアーの新シリーズ

従来品に比べ平滑性が向上しました



南海アートフロアーエルフ



従来品

柄と連動したパールインキの使用で木肌の「てり」を表現  
天然木をイメージした「アートフロアーエルフ」は、  
着色をすることなく木の持ち味をそのまま表現



## 子会社のご紹介 南海港運株式会社



南海港運株式会社は、当初、当社郷東工場へ輸入した南洋材原木の曳航を目的に設立されましたが、その後は、事業所間の原材料、製品の輸送業務を行うようになり、現在では、中国、四国地域の取引先への製品の配送業務も行っております。

- 商 号：南海港運株式会社
- 設 立：昭和46年10月
- 代 表 者：代表取締役 山口時弘（当社代表取締役専務）
- 本 社：香川県高松市松福町一丁目15番10号  
（南海プライウッド本社ビル内）
- 営 業 所：香川県さぬき市造田乙井170番地1  
（南海プライウッド物流センター内）  
香川県高松市朝日新町28番1号  
（南海プライウッド朝日新町倉庫内）
- 資 本 金：41百万円
- 株主構成：南海プライウッド株式会社 100%
- 事業内容：木材管理、陸上貨物運送業、荷造梱包業務
- 保有車両：11トン車 10台  
8トン車 5台  
4トン車 13台  
フォークリフト 6台
- 従業員数：45名（平成18年3月31日現在）



● 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部

科目	期別	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
<b>流動資産</b>		<b>8,803</b>	<b>8,976</b>
現金及び預金		1,213	1,265
受取手形及び売掛金		2,460	3,423
たな卸資産		3,112	3,448
デリバティブ債権		48	664
繰延ヘッジ損失		1,849	—
その他		136	192
貸倒引当金		△18	△18
<b>固定資産</b>		<b>12,530</b>	<b>11,353</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>8,829</b>	<b>8,475</b>
建物及び構築物		2,623	2,483
機械装置及び運搬具		1,403	1,161
工具器具備品		72	64
土地		4,730	4,765
<b>無形固定資産</b>		<b>230</b>	<b>174</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>3,469</b>	<b>2,703</b>
投資有価証券		775	915
長期貸付金		19	169
差入保証金		2,368	1,369
その他		308	251
貸倒引当金		△2	△2
<b>資産合計</b>		<b>21,333</b>	<b>20,329</b>

負債の部

科目	期別	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
<b>流動負債</b>		<b>4,984</b>	<b>3,407</b>
支払手形及び買掛金		1,324	1,228
短期借入金		906	700
未払金		335	291
未払費用		54	62
未払法人税等		160	245
未払消費税等		115	30
賞与引当金		122	130
工場稼働停止損失引当金		38	—
デリバティブ債務		1,898	—
繰延ヘッジ利益		—	664
その他		27	53
<b>固定負債</b>		<b>524</b>	<b>483</b>
長期借入金		38	—
退職給付引当金		200	161
役員退職慰労引当金		61	61
その他		223	260
<b>負債合計</b>		<b>5,509</b>	<b>3,890</b>

少数株主持分

少数株主持分	8	15
--------	---	----

資本の部

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,738	12,202
その他有価証券評価差額金	177	251
為替換算調整勘定	△28	45
自己株式	△57	△63
<b>資本合計</b>	<b>15,816</b>	<b>16,422</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>21,333</b>	<b>20,329</b>

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高		14,216	13,657
売上原価		9,771	9,529
売上総利益		4,445	4,127
販売費及び一般管理費		3,476	3,471
営業利益		988	656
営業外収益		160	349
営業外費用		229	33
経常利益		899	972
特別利益		58	1
特別損失		209	12
税金等調整前当期純利益		747	962
法人税、住民税及び事業税		250	372
法人税等調整額		45	△56
少数株主利益		1	6
当期純利益		451	639

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		883	755
投資活動による キャッシュ・フロー		△125	△340
財務活動による キャッシュ・フロー		△492	△400
現金及び現金同等物に 係る換算差額		△25	35
現金及び現金同等物の 増減(△)額		239	50
現金及び現金同等物 期首残高		968	1,207
現金及び現金同等物 期末残高		1,207	1,258

## 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
資本剰余金期首残高		1,865	1,865
資本剰余金期末残高		1,865	1,865
利益剰余金期首残高		11,406	11,738
利益剰余金増減高(△減少)		331	464
配当金		△119	△148
役員賞与		—	△26
当期純利益		451	639
利益剰余金期末残高		11,738	12,202

株主資本比率

80.8%

株主資本当期純利益率

4.0%

1株当たり株主資本

1,653円

●個別財務諸表の要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部

科目	期別	前事業年度 (平成17年3月31日現在)	当事業年度 (平成18年3月31日現在)
<b>流動資産</b>		<b>7,632</b>	<b>7,481</b>
現金及び預金		651	647
受取手形・売掛金		1,681	2,383
たな卸資産		2,402	2,842
その他		2,896	1,608
<b>固定資産</b>		<b>13,190</b>	<b>12,071</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>7,784</b>	<b>7,401</b>
建物		2,262	2,109
機械装置		1,154	920
土地・その他		4,367	4,372
<b>無形固定資産</b>		<b>156</b>	<b>118</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>5,249</b>	<b>4,550</b>
投資有価証券		656	788
長期貸付金		1,930	2,100
差入保証金		2,004	1,002
その他		658	658
<b>資産合計</b>		<b>20,823</b>	<b>19,552</b>

負債の部

科目	期別	前事業年度 (平成17年3月31日現在)	当事業年度 (平成18年3月31日現在)
<b>流動負債</b>		<b>4,340</b>	<b>2,736</b>
支払手形		409	255
買掛金		336	396
短期借入金		900	700
未払金		305	292
その他		2,389	1,092
<b>固定負債</b>		<b>430</b>	<b>409</b>
長期借入金		—	—
その他		430	409
<b>負債合計</b>		<b>4,770</b>	<b>3,145</b>

資本の部

資本金		2,121	2,121
資本剰余金		1,865	1,865
利益剰余金		11,965	12,245
その他有価証券評価差額金		157	236
自己株式		△57	△63
<b>資本合計</b>		<b>16,052</b>	<b>16,406</b>
<b>負債・資本合計</b>		<b>20,823</b>	<b>19,552</b>

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	当事業年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
<b>売上高</b>		<b>12,403</b>	<b>11,640</b>
売上原価		8,985	8,494
<b>売上総利益</b>		<b>3,417</b>	<b>3,146</b>
販売費及び一般管理費		2,724	2,701
<b>営業利益</b>		<b>692</b>	<b>444</b>
営業外収益		198	324
営業外費用		38	21
<b>経常利益</b>		<b>852</b>	<b>747</b>
特別利益		57	10
特別損失		211	10
<b>税引前当期純利益</b>		<b>699</b>	<b>748</b>
法人税、住民税及び事業税		244	330
法人税等調整額		21	△37
<b>当期純利益</b>		<b>433</b>	<b>455</b>
前期繰越利益		65	44
<b>当期末処分利益</b>		<b>498</b>	<b>499</b>

注1) 1株当たりの当期純利益

41円5銭

43円21銭

注2) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度 株主総会承認日 (平成17年6月24日)	当事業年度 株主総会承認日 (平成18年6月26日)
<b>当期末処分利益</b>		<b>498</b>	<b>499</b>
特別償却準備金取崩額		20	16
<b>合計</b>		<b>519</b>	<b>516</b>
配当金		148	118
		(1株につき15円)	(1株につき12円)
取締役賞与金		25	26
監査役賞与金		1	1
別途積立金		300	300
<b>次期繰越利益</b>		<b>44</b>	<b>70</b>

## 株式の状況

(平成18年3月31日現在)

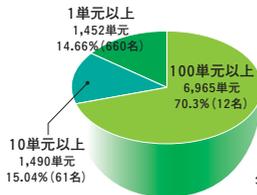
### 総数

発行する株式の総数	20,000,000株
発行済株式総数	10,095,800株
株主総数	820名(前期末比115名減)

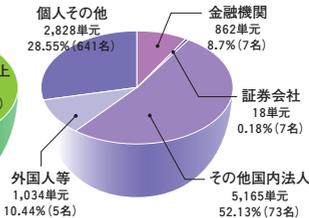
### 大株主

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.25%
財団法人南海育英会	1,554	15.97
株式会社百十四銀行	467	4.80
エスアイエスセガインターセトル エージー	458	4.70
丸山 修	344	3.53
ソエテ ヌネル エアールエイ エイオー デイテイ	269	2.76
株式会社愛媛銀行	243	2.49
南海プライウッド株式会社	179	0
バンク ホフマン エイジー	136	1.39
南海プライウッド従業員持株会	134	1.37

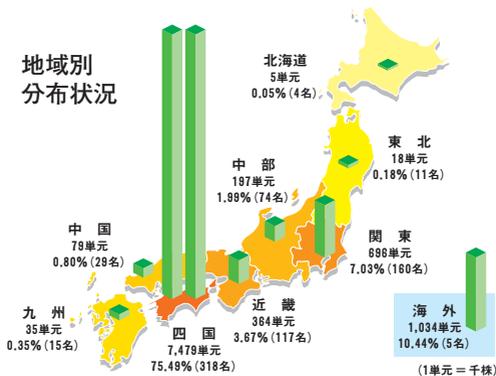
### 所有単元数別分布状況



### 所有者別分布状況



### 地域別分布状況



## 会社概要

(平成18年3月31日現在)

商号	南海プライウッド株式会社
本社	〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号 電話 087(825)3615(代表) Eメール np@nankaiplywood.co.jp http://www.nankaiplywood.co.jp
設立	昭和30年4月16日
資本金	21億2100万円
従業員数	380名
事業内容	建築内装材の製造・販売
事業所	志度工場 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地 物流センター 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1 朝日新町倉庫 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

## 役員

(平成18年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	濱野 勝
代表取締役専務	山口 時弘	取締役・執行役員	藤村 岳志
常務取締役	嶋内 幸秀	取締役・執行役員	正箱 孝史
常務取締役	田井 雅士	取締役・執行役員	丸山 宏
常務取締役	植田 幹夫	常勤監査役	高松 幸雄
取締役相談役	丸山 修	監査役	水野 正徳
取締役・執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄

## 株主メモ

■決算期 / 3月31日

■定時株主総会 / 6月

■株主名簿管理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス

■同事務取扱場所 /

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部

●株主事務各種問合せ フリーコール電話番号 0120-255-100

●株主関係手続用紙請求先 フリーコール電話番号 0120-351-465

●インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp

■同取次所 / 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

■上場証券取引所 /

株式会社大阪証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)

■公告方法 /

日本経済新聞に掲載いたします。



南海プライウッド株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています